

### 1.不要ソフトを削除する際の注意事項。

不要ソフトがあった場合は、そのソフト名をクリックし、「追加と削除」ボタンを押しすと 「選択されたアプリケーションとその全てのコンポーネントを完全に削除しますか?」と確認のメ ッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。このときに注意しなければならないのは、 もし削除したものを再び使用したいときに再インストールできるバックアップ CD やインターネット からダウンロードできるかどうかを確かめてから「はい」をクリックすることです。

共用ファイルを削除するかどうかの確認メッセージが表示された場合は、「すべて保存」を選択します。これは、削除するソフトで使用していたファイルなのですが、他のソフトでも使用している可能性があるファイルなので、どうしましょうか?と聞いています。

ここで、「削除」を選択した場合で、他のソフトでも使用しているファイルだった場合、その別のソフトまでも起動しなくなってしまいます。

私たちのレベルでは、そのファイルが他でも使用するファイルかどうかなんてことはわかりませんから、ここでは残しておいたほうが無難です。

自分でショートカットアイコンを作成した場合は、忘れずにそれも削除しておきましょう。

削除する場合には、必ず、「アプリケーションの追加と削除」からの削除を試みましょう!

「不要なソフトを削除」しましたが、まだまだ、パソコンの中には不要なファイルが存在します。 それら1つ1つを自分で探し出し、削除していくことは非常に時間が掛るし、 失敗することもあり ますので、Windows の標準の機能として用意されている、ディスククリーンアップ機能を利用し ます。 ディスククリーンアップとは、主にいろいろなソフトが利用してそのままにしている一時フ

ァイルを識別して、削除してくれたりします。

まず、「スタート」ボタンを押した中にある「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」と 辿って行き、その中の「ディスククリーンアップ」を選択します。 すると対象とするドライブの選択 画面が表示されます。 普通は C ドライブにインストールされていますので『OK』をクリックしま す。

【第1図】

ドライブの選択 ? 🔀	ディスク クリーンアップ
ディスク クリーンアップを実行するドライブを指定してください。 ドライブ( <u>D</u> ):	OS (C: ) に作成される空き領域を計算しています。数分かかることが あります。
✓ OS (C.) OK 終了公	計算中  スキャン中: 古いファイルの圧縮
 次に、【第3図】の画面で	

1

【第3図】の画面でクリーンアップする項目を選んでチェックを入れます。

💰 ディスク クリーンアップ - OS (C:)	? 🔀	
ディスク クリーンアップ 詳細オプション		
ディスク クリーンアップを実行すると OS (C:) の空 KB 増加します。	き領域が 10,009,241	
肖JB余するファイル( <u>F</u> ):		
🔽 🖻 ダウンロードされたプログラム ファイル	0 KB 🔼	
🔽 📄 Temporary Internet Files	273,277 K 📄	
📃 🔲 オフライン Web ページ	50 KB	
📃 🔲 🥪 ごみ箱	3,910,144	
📃 🥅 Setup Log Files	828 KB 💌	
増加するディスク領域の合計:	273,277 K	
説明 特定のページを表示したときにインターネットから自動的にダウンロードされる、 ActiveX コントロールや Java アプレットです。これらは、ハード ディスクの [Downloaded Program Files] フォルダに一時的に保存されます。		
	ファイルの表示(⊻)	
	キャンセル	

### **Temporary Internet Files**

インターネットエクスプローラの一時ファイルです。

其の参の1. 「<u>一時ファイルを削除する」</u>で削除するのと同じことです。

# ダウンロードされたプログラムファイル

ホームページを見るために、見ている人の意思とは関係な〈ダウンロードされたプログラムです。 ごみ箱

エクスプローラなどの操作で、ファイルを削除した際に退避される領域です。

### 一時ファイル

ソフトが動く(動いている)過程で作成される中間ファイルです。

通常は、後で自動的に消えるはずですが、何故か残ったままになっていることもあるようです。

## PC Health の一時ファイル

システムの復元情報を作成する際に発生する一時的なファイルのようです。

# アプリケーションのデバッグ情報

下側に表示される説明によると、何かエラーが発生したプログラムのエラー情報を記録している ことこのようです。

また、この項目は対象となるファイルが存在しない場合、ここには表示されないようです。

いずれもシステム的には、不要なファイルばかりですので、定期的に削除しましょう。 次回はディスク デフラグの実施と効果について、説明します。